

款	消防費	項	消防費
事業名	消防団車庫整備事業		
施策の大綱名	市民の生活と財産を守り、安心・安全な、明るいまちづくり		
決算額	18,218千円	財源内訳	国県支出金等 18,200千円 一般財源 18千円

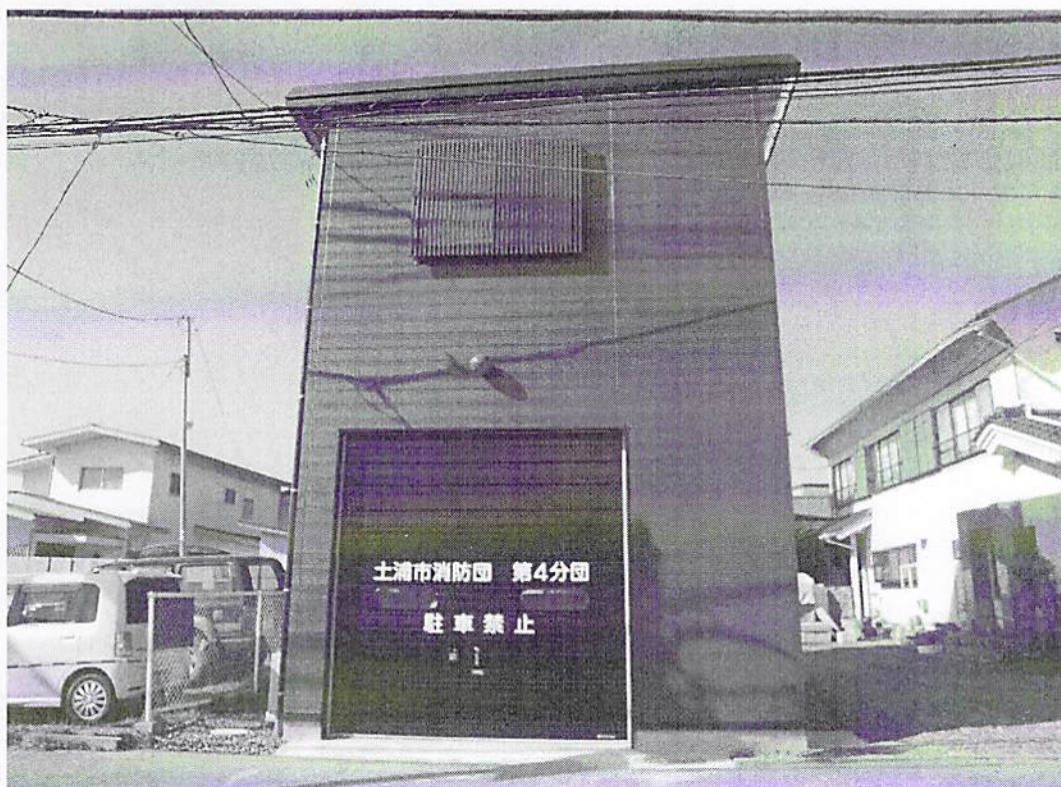
【事業の概要】

老朽化した消防団(第4分団)詰所及び車庫の建て替えを行いました。

[平成25年度決算額]

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
工 事 費	18,218	《新築》 大手町994番地21 軽量鉄骨造2階建て 63.80㎡ 《解体》 大手町994番地21 ブロック造2階建て 33.00㎡



土浦市消防団第4分団車庫

【事業の成果】

消防団の消防活動拠点である消防団車庫の整備を図ることにより、消防団の活性化と消防団員の士気高揚に寄与しました。

款	消防費	項	消防費			
事業名	新消防庁舎整備事業 《合併特例債事業》					
施策の大綱名	市民の生活と財産を守り、安心・安全な、明るいまちづくり					
決算額	42,510千円	財源内訳	国県支出金等	40,100千円	一般財源	2,410千円

【事業の概要】

昭和41年に竣工して以来46年が経過し、老朽化・狭あい化した消防庁舎を建て替え、消防拠点として活用できる新消防庁舎を建設します。

◎基本実施設計委託

平成25年4月 プロポーザル最優秀者と委託契約を実施し設計を開始しました。

平成25年11月 基本設計がまとまり実施設計に着手しました。

◎建設用地の取得

平成26年1月 建設用地の取得を完了しました。

[平成24年度からの繰越分]

(単位：千円)

区 分	事 業 費	概 要
委 託 料	2,394	新消防庁舎用地測量委託
合 計	2,394	

[平成25年度]

(単位：千円)

区 分	事 業 費	概 要
旅 費	15	消防庁舎視察（八千代市消防本部）
需 用 費	111	土地登記申請用印紙代等
委 託 料	39,890	基本実施設計委託等
補償補填及び賠償金	100	
合 計	40,116	

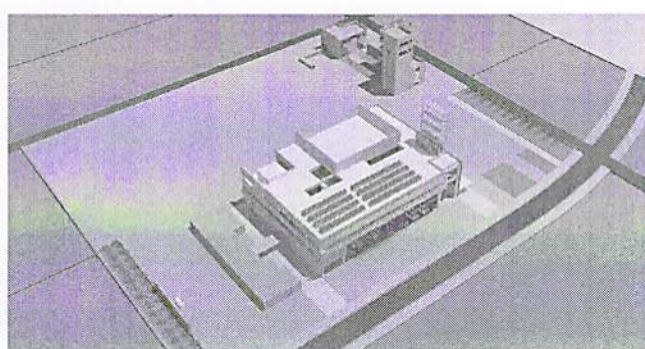
[平成26年度への繰越分]

(単位：千円)

区 分	事 業 費	概 要
委 託 料	89,670	基本実施設計委託
合 計	89,670	



新消防庁舎イメージ



敷地レイアウトイメージ

【事業の成果】

消防力の基幹である消防庁舎を整備することにより、消防体制の充実を図り、安心安全なまちづくりに寄与します。

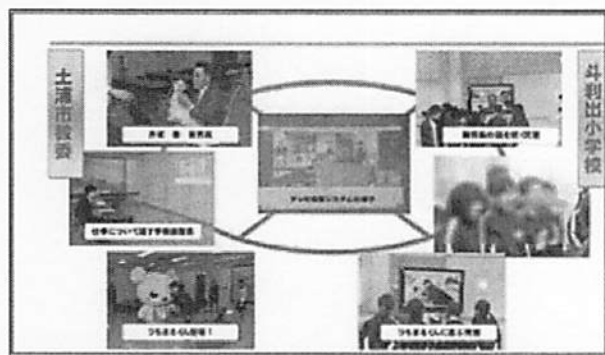
款	教育費	項	教育総務費	
事業名	「小中一貫教育」推進事業			
施策の大綱名	心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり			
決算額	21,484千円	財源内訳	国県支出金等	一般財源 21,484千円

【事業の概要】

子どもの連続的な学びを創造する小中一貫教育の在り方について、パイロット校である真鍋小学校と土浦第二中学校の先進的な研究を継続するとともに、他の小中学校においても、それぞれの学区の状況や児童生徒、教師の願いに応じた取組を始めました。

具体的には、合同あいさつ運動や、小学校で夏休みに実施している「学びの広場」への中学生の協力等、小中学校の連携強化と系統的な指導を推進しました。

小中連携・一貫教育においては、異なる学校の教師間・児童生徒間の様々な交流が重要になりますが、施設分離型の学校間では困難も多いため、WEB会議システムを導入することで、物理的な移動の負担を軽減しました。また、小中一貫教育の柱の一つである学力の向上については、電子黒板やデジタル教科書を活用し、児童生徒が主体的に取り組む授業を展開しました。



WEB会議システムを活用した交流会



デジタル教科書を活用した授業

市内の小中学校の先生、更には、保護者の方々に、小中一貫教育が目指すものや具体的な取組等について理解していただくため、小中一貫教育に関するリーフレットを作成し、配付しました。



リーフレット

〔平成25年度事業費〕

(単位：千円)

区分	事業費	概要
報酬	4,494	小中一貫教育推進非常勤講師の配置（真鍋小3人、土浦二中1人）
報償費	30	アドバイザー講師派遣
需用費	176	小中一貫教育リーフレット印刷代
委託料	6,825	情報教育サポーター委託
使用料及び賃貸料	6,799	小中一貫ICT活用授業システム及びWEB会議システム賃貸借
備品購入費	3,160	デジタル教科書購入
合計	21,484	

【事業の成果】

本市における小中一貫教育を推進していく上での課題について追究しながら、具体的な方策について実践的かつ中学校区の特色を生かした取組を進めていくことができました。交流行事等の後には、多くの児童生徒から喜びや達成感を感じたという感想を聞くことができました。

今後は、本市独自の小中一貫教育の在り方を追究していくため、小中一貫教育運営協議会や推進主任会を中心に、真鍋小学校・土浦第二中学校での取組を基盤として、全市的な研究及び実践を進めていきます。

款	教育費	項	教育総務費		
事業名	教育情報化計画策定事業				
施策の大綱名	心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり				
決算額	2,300千円	財源内訳	国県支出金等	一般財源	2,300千円

【事業の概要】

児童生徒同士の教え合い・学び合いを促し、社会の変化に主体的に対応できる「生きる力」を持つたくましい児童生徒を育むために、学校に整備したＩＣＴ（情報通信技術）機器を有効活用し、魅力ある授業を展開します。

さらに、21世紀にふさわしい学校教育の実現を目標とし、現状に合った計画を策定することで、学校現場にも負担なく、無駄のないＩＣＴ機器整備を実施し、授業や校務でのＩＣＴ機器活用を推進するため、「土浦市教育情報化計画」を策定しました。

学習場面に応じてタブレットを活用し、児童生徒の学び合いや教え合いが進むよう授業を工夫します。



学力向上に効果的なＩＣＴ機器の活用法について、教員の研修を実施します。



電子黒板の計画的な配置を進め、「分かる授業」を目指して、授業改善を図ります。

小学校間・小中学校間で目指す子どもの姿を共有するなど、小中一貫教育の情報共有ツールとして、ＩＣＴ機器を活用します。



ＩＣＴ機器を活用し、効率よく会議等を実施し、教員が児童生徒と向き合う時間を確保します。

学校の様子を保護者や地域住民に分かりやすく伝えるよう、努めます。



【事業の成果】

この計画の策定に伴い、これまで各学校に委ねられていたＩＣＴ機器の活用方法について方針が統一されたほか、電子黒板やデジタル教科書等の機器についても、より計画的な配置が可能となりました。

今後は、教員のＩＣＴ活用に係る研修や、ＩＣＴ機器を駆使した授業をサポートする「情報教育サポーター」の配置等により、管理職を含め、校務の情報化に関する理解が深まり、ひいては児童生徒の学力向上につながることを期待できます。

款	教育費	項	小学校費・中学校費
事業名	小・中学校・幼稚園施設エアコン整備事業		
施策の大綱名	心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり		
決算額	349,872千円	財源内訳	国県支出金等 286,750千円 一般財源 63,122千円

【事業の概要】

近年の猛暑に対応するため、幼稚園、小学校及び中学校の普通教室へエアコンを設置し、学習環境の向上に努めます。

幼稚園は、平成24年度に5園設置完了済みです。小学校は、平成24年度～平成25年度において設置し、中学校については、平成26年度に設置予定です。

【事業計画】

平成24年度	幼稚園5園保育室冷暖房機器設置 小学校エアコン設置工事実施設計
平成25年度	小学校エアコン設置工事（平成25年度に繰越し） 小学校エアコン設置工事 中学校エアコン設置工事実施設計 中学校エアコン設置工事（平成26年度に繰越し）

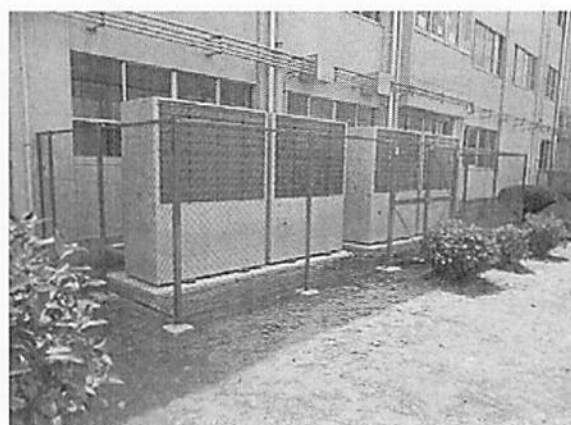
【平成25年度事業費内訳】

（単位：千円）

区分	事業費	概要
委託料	4,620	中学校エアコン設置工事実施設計
使用料及び賃借料	4,706	小学校エアコン賃借料
工事請負費	340,546	小学校エアコン設置工事
合計	349,872	



設置エアコン室内機（神立小学校）



室外機（神立小学校）

【事業の成果】

児童の熱中症対策として小学校にエアコンを設置することにより、良好な学習環境の整備を図ることができました。

平成26年度には、中学校の普通教室へもエアコンの設置が完了する予定です。

款	教育費	項	小学校費・中学校費
事業名	小・中学校緊急通信放送システム整備事業		
施策の大綱名	心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり		
決算額	30,135千円	財源内訳	国県支出金等 30,135千円 一般財源

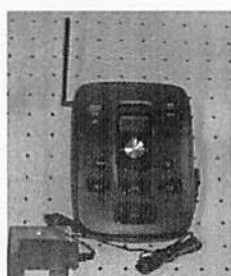
【事業の概要】

無線による緊急通信放送システムの導入により、敷地内のどの場所からでもトランシーバーで連絡ができ、既存の校内放送設備を活用した一斉放送が可能となり、災害などの緊急時等に対応することが可能となりました。

なお、このシステムはトランシーバー間の通信ができるため、普段の連絡用として使用できるほか、校外学習や遠足など校外活動時也可以使用することができます。



緊急通信放送システムの活用イメージ



通信用及び緊急用トランシーバー、中継器等

※財源として、市町村復興まちづくり支援事業費交付金を活用しています。

【事業の成果】

学校敷地内のどの場所からでも相互連絡や一斉放送が可能となったことから、災害や不審者侵入などの緊急時にも対応することができ、学校の安全対策機能の更なる強化を図ることができました。

款	教育費	項	小学校費			
事業名	土浦小学校校舎及び屋内運動場改築事業					
施策の大綱名	心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり					
決算額	2,243,827千円	財源内訳	国県支出金等	2,029,496千円	一般財源	214,331千円

【事業の概要】

老朽化が進んでいる土浦小学校の校舎及び屋内運動場の改築計画を進めている中で、平成25年度は、前年度に着工した建築主体・電気・機械設備等工事が竣工しました。

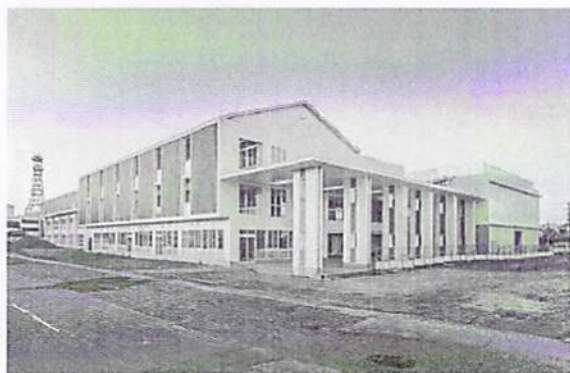
【事業計画】

平成22年度	基本設計 プロポーザル選定委員会を設置し、設計事務所を選定
平成23年度	敷地測量 実施設計 地質調査 工事着工
平成24年度～ 平成25年度	土浦小学校校舎及び屋内運動場改築建築主体、電気設備、 機械設備、昇降機設備工事、空気調和設備工事 旧土浦幼稚園園舎解体工事 土浦小学校改築に伴う第1期解体工事、工事監理、 仮設校舎賃貸借
平成26年度（予定）	既存校舎及び屋内運動場解体工事、門・塀整備工事等

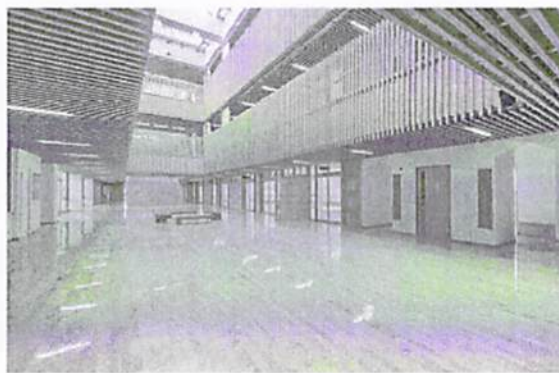
【平成25年度事業費内訳】

（単位：千円）

区 分	事業費			概 要
	繰越分	当初予算	小計	
委託料	4,373	14,974	19,347	工事監理
使用料及び賃借料	0	44,887	44,887	仮設校舎賃貸借
工事請負費	535,866	1,628,490	2,164,356	建築主体工事等
備品購入費	0	14,452	14,452	学校用備品
その他	0	785	785	事務費等
合計	540,239	1,703,588	2,243,827	



外観



内観（昇降口より）

【事業の成果】

老朽化した建物の改築整備による児童・教職員の安全確保及び学習環境の改善を目指し、平成23年度に作成した実施設計を基に、平成24年度から着手した校舎及び屋内運動場の整備が平成26年1月に完了し、2月から新校舎の使用を開始することができました。

款	教育費	項	小学校費	
事業名	都和小学校校舎改築事業			
施策の大綱名	心の豊かさとかくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり			
決算額	54,705千円	財源内訳	国県支出金等	一般財源 54,705千円

【事業の概要】

都和小学校については、学習環境の改善を推し進めるため、老朽化が進んでいる校舎の改築計画を進めています。

平成25年度は、実施設計が完了しました。

〔事業計画〕

平成24年度	基本設計 プロポーザル選定委員会を設置し、設計事務所を選定
平成25年度	敷地測量 実施設計 地質調査
平成26年度～	工事着工

〔平成25年度事業費内訳〕

(単位：千円)

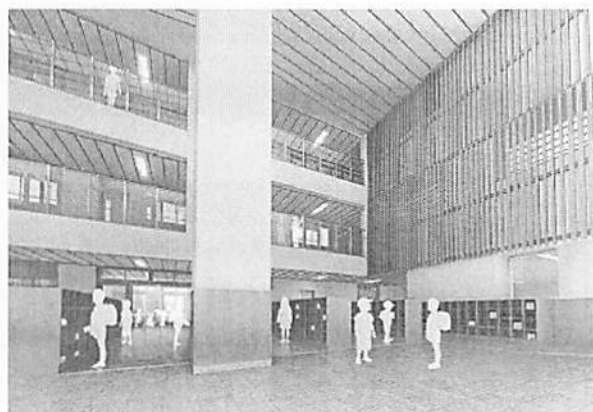
区分	事業費	概要
委託料	54,705	新校舎実施設計

〈計画建物〉

- ・構造 鉄筋コンクリート造
- ・階数 3階建て
- ・延床面積 5,214㎡
- ・教室内訳 普通教室18室、特別支援学級4室、図工室、家庭科室、図書室、コンピュータ教室、音楽室、理科室、多目的教室等



完成予想図
外観（南側より）



内観（昇降口より）

【事業の成果】

建物の耐震・耐久性を確保するとともに、改築整備による学習環境の改善を推し進めるための新校舎の実施設計が完了しました。

平成26年度は、実施設計に基づく校舎の建設工事を予定しています。

款	教育費	項	小学校費
事業名	上大津東小学校校舎増築事業		
施策の大綱名	心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり		
決算額	109,153千円	財源内訳	国県支出金等 93,171千円 一般財源 15,982千円

【事業の概要】

上大津東小学校において、学区の人口増加による児童数の増加や特別支援学級の新設に伴う教室不足を解消するために、普通教室棟の増築工事を実施しました。

【事業計画】

平成24年度 実施設計
平成24年度～平成25年度 建築工事・工事監理業務委託

【平成25年度事業費内訳】

(単位：千円)

区分	事業費			概要
	繰越分	当初予算	合計	
役務費	40	39	79	事務費等
委託料	10,141	2,207	12,348	実施設計、工事監理
工事請負費	28,822	67,904	96,726	建築工事
合計	39,003	70,150	109,153	

〈計画建物〉

- ・構造 鉄骨造
- ・階数 2階建て
- ・施工面積 497㎡
- ・教室内訳 普通教室2教室、多目的教室1室



外観



内観（2階廊下）

【事業の成果】

児童数の増加に対応できる学校施設としての増築校舎棟が完成し、適正な教室数による生徒の学習環境を確保することができました。

款	教育費	項	小学校費・中学校費・幼稚園費			
事業名	小・中学校・幼稚園施設耐震化事業					
施策の大綱名	心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり					
決算額	747,012千円	財源内訳	国県支出金等	714,462千円	一般財源	32,550千円

【事業の概要】

耐震補強工事が必要な学校校舎や幼稚園園舎などを、年次計画に沿って補強工事を進めるとともに、老朽化した施設の質的整備を行うことにより、安心安全に学校生活を過ごせるよう学習環境の向上を図ります。

平成25年度は、小学校2校の校舎及び幼稚園1園について、耐震補強工事の実施設計を行うとともに、小・中学校各1校及び幼稚園1園の耐震補強工事を実施しました。

【事業内容】

耐震補強及び大規模改造工事实施設計

(単位：階、㎡、棟)

学校名	構造	階数	延床面積	棟数
下高津小学校	鉄筋コンクリート造	3	4,524	4
荒川沖小学校	鉄筋コンクリート造	3	4,918	4
大岩田幼稚園	鉄筋コンクリート造	2	688	1

耐震補強及び大規模改造工事(工事監理も併せて実施)

(単位：階、㎡、棟)

学校名	構造	階数	延床面積	棟数
土浦第二小学校	鉄筋コンクリート造	3	4,983	3
土浦第四中学校	鉄筋コンクリート造	4	2,425	2
土浦第二幼稚園	鉄筋コンクリート造	2	1,126	1

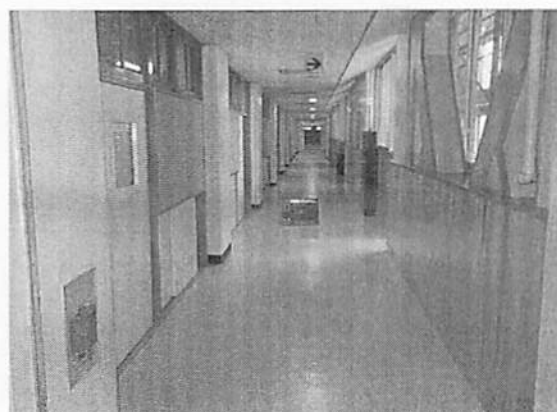
【平成25年度事業費内訳】

(単位：千円)

区分	事業費	概要
委託料	39,154	実施設計、工事監理
工事請負費	707,858	耐震補強及び大規模改造工事
合計	747,012	



第二小学校外観



第二小学校内観

【事業の成果】

耐震補強及び大規模改造工事を実施することにより、小・中学校及び幼稚園各1施設の耐震性が向上し、児童・生徒の安全確保及び学習環境の改善を図ることができました。

款	教育費	項	社会教育費				
事業名	市民演劇（オペラ）鑑賞事業						
施策の大綱名	心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり						
決算額	3,386千円	財源内訳	国県支出金等	2,500千円	一般財源	886千円	

【事業の概要】

古来から土浦（新治地区）に語り伝えられた「小野小町伝説」を基に創作された「小町百年の恋」～筑波山愛ものがたり～ハイライト版（全3幕）を、茨城県民オペラ協会に委託し上演しました。地元の児童・生徒35人や一般市民も村人の役で出演し、合唱しました。

当公演は、小町の館リニューアル記念事業として、更に、常陸国風土記1300年記念としての開催となりました。

〔「小町百年の恋」公演記録〕

開催日	上演時間	会場	入場料	観客数
平成25年8月10日（土）	17：00～19：10	土浦市民会館大ホール	無料	857人

〔市支出分経費内訳〕

（単位：千円）

区分	事業費	概 要
需用費・印刷製本費	346	ポスター、チラシ、プログラム
委託料	2,500	オペラ上演委託
使用料及び賃借料	540	市民会館利用料
合計	3,386	



「小町百年の恋」フィナーレの場面

【事業の成果】

多くの市民にオペラを鑑賞いただいたことで、市民のオペラに関する理解・関心が高められ、オペラの普及と文化意識の向上が図られました。

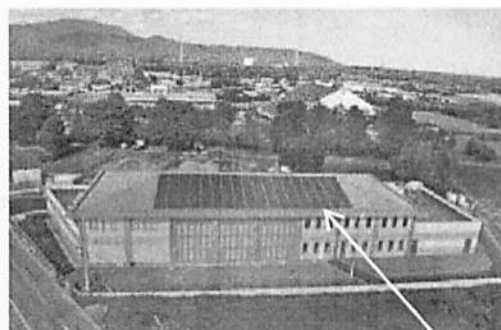
款	教育費	項	社会教育費	
事業名	新治地区公民館建設事業 《合併特例債事業》			
施策の大綱名	心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり			
決算額	599,168千円	財源内訳	国県支出金等	570,933千円 一般財源 28,235千円

【事業の概要】

昭和49年に建設された新治地区公民館は、築40年を経過し老朽化が進んでいたことから、利用者の学習環境の改善を図るため、建物の建て替えを実施しました。

〔施設概要〕

- ・ 建築延床面積：1,888.38㎡
- ・ 構造 鉄筋コンクリート2階建
- ・ 研修室1～4、視聴覚室1・2、集会室、調理実習室、和室1・2及び図書館新治地区分館を併設
- ・ エレベーター、太陽光発電設備、蓄電池、雨水利用設備等を設置



新治地区公民館全景(南側より)

屋根上に見える黒い板が太陽光発電パネル

〔事業計画〕

平成23年度：地質調査、測量調査、基本・実施設計
 平成24年度：用地取得、工事着工
 平成25年度：建築工事、外構工事、駐車場整備工事
 ※平成25年10月1日竣工
 平成26年度：旧館解体工事

〔平成25年度事業費〕

(単位：千円)

区分	事業費	備考
委託料	14,638	うち11,075千円は平成24年度繰越分
工事請負費	563,652	うち399,342千円は平成24年度繰越分
備品購入費	19,924	
事務費等	954	
合計	599,168	



新治地区公民館全景(北側より)



集会室



研修室1

【事業の成果】

改築によって新たな公民館を整備したことにより、利用者の学習環境の改善や障害者・高齢者に対する利用環境の改善に寄与することができました。また、図書館分館を併設したことにより、より立ち寄りやすく親しみやすい公民館となりました。

なお、平成25年10月～平成26年3月の利用状況は、利用団体数で対前年比約2割、利用者数で約4割の増加が見られました。図書館分館についても、毎月約1,600人の来館者が訪れています。

款	教育費	項	社会教育費		
事業名	重要資料公開推進事業				
施策の大綱名	心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり				
決算額	13,522千円	財源内訳	国県支出金等	一般財源	13,522千円

【事業の概要】

市立博物館では、土浦の歴史と文化についての研究成果を広く市民に公開しています。地域の歴史や資料を身近に感じていただくために、国宝・重要文化財等重要資料を公開する展覧会の充実を図り、毎年特別展やテーマ展等を開催しております。

平成25年度は、次の展覧会を開催しました。

○第34回特別展「婆娑羅たちの武装―戦国を駆け抜けた武将たちの甲冑と刀剣―」

平成25年3月16日（土）～5月6日（月），入館者数：28,057人

開館25周年を記念して、戦国時代に活躍した全国の武将たちが所持した甲冑や刀剣を一堂に集め、人気ゲームソフトの制作会社との共催で大規模に開催しました。

○特別公開「土屋家の刀剣―国宝・重要文化財の公開―」

平成25年9月28日（土）～10月14日（月），入館者数：1,237人

土浦藩土屋家刀剣のうち、国宝や国指定重要文化財を特別公開しました。合わせて、土屋家の起こりについて、錦絵等で紹介しました。

○テーマ展「城下町土浦の祭礼―江戸の文化と土浦―」

平成25年10月26日（土）～12月8日（日），入館者数：3,181人

博物館に収蔵されている絵画や日記、古記録などの資料を基に、江戸時代の土浦城下で行われた祭礼について紹介しました。

○第35回特別展「幕末動乱―開国から攘夷へ―」（四館共同企画展）

平成26年3月21日（金）～5月6日（火），入館者数：7,426人

幕末動乱期の関東を中心とした政治的及び社会的混乱に注目しながら、明治維新に至るまでに名を残した人物や組織に焦点を当てて紹介しました。

なお、この展覧会は、日野市立新選組のふるさと歴史館、壬生町立歴史民俗博物館、板橋区立郷土資料館とともに、四館共同企画展として開催しました。



第35回特別展展示案内会



第35回特別展ポスター

【事業の成果】

重要文化財など、地域の歴史に関わる貴重な資料を収集公開し、それらを紹介することで地域文化の向上に貢献しました。

第35回特別展では、幕末をテーマに関東近県の4つの博物館と共同企画で開催し、予想を超える反響がありました。

款	教育費	項	社会教育費
事業名	図書館分館整備事業（新治地区）		
施策の大綱名	心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり		
決算額	23,177千円	財源内訳	国県支出金等 16,000千円 一般財源 7,177千円

【事業の概要】

新治地区公民館の改築に伴い、地域住民を始め、市民の利便性の向上を目的として、同施設内に市内最大規模となる新治地区分館を整備しました。

＜施設の概要＞

○開館日

平成25年10月1日（火）

○施設規模

延床面積 313㎡

収蔵能力 約3万冊

○業務内容

一般図書のほか、CD・DVDの視聴覚資料や新聞、雑誌など多様な資料を提供するとともに、図書館司書を配置し、レファレンス業務や複写サービス等も行っています。また、ICタグを活用した自動貸出機等の新サービスも行っています。

○新治地区分館の利用状況（平成25年10月～平成26年3月）

貸出者数 5,710人（内自動貸出機利用 544人）

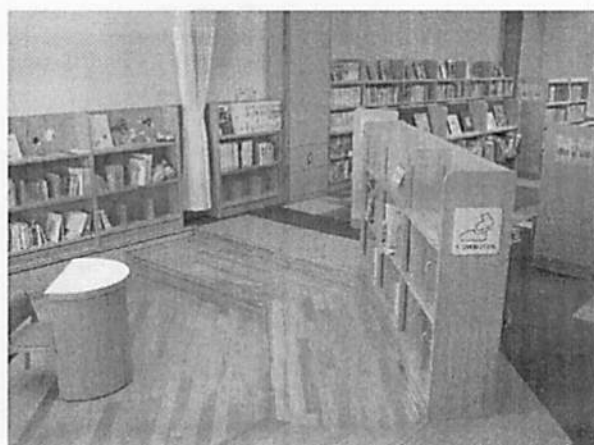
貸出冊数 21,126冊（内自動貸出機利用 2,286冊）

○利用状況の前年度との比較（新治地区）

	平成24年度	平成25年度
登録者数	329人	658人
登録率	3.9%	7.8%
延べ貸出者数	3,156人	5,671人
貸出冊数	10,426冊	19,826冊



新治地区公民館（手前が新治地区分館）



児童コーナー（おはなし室）

【事業の成果】

図書館から遠く、利用の少なかった同地区へのサービス拠点として、平成25年10月に新治地区分館として開館しました。開館から半年の時点で、新治地区の登録者数（登録率）は約2倍に増加し、貸出冊数も順調に増加しており、「身近な図書館」として、地域の皆さんに多く利用されています。

款	教育費	項	社会教育費
事業名	放課後児童クラブ・放課後子ども教室推進事業		
施策の大綱名	心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり		
決算額	250,840千円	財源内訳	国県支出金等 141,287千円 一般財源 109,553千円

【事業の概要】

◎放課後児童クラブ

＜児童クラブ室の増設工事＞

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
真鍋小学校第3児童クラブ室新設工事	2,118	学校余裕教室
神立小学校第3児童クラブ室新築工事	18,984	学校敷地内専用クラブ室
土浦小学校第1・第2児童クラブ室移設、第3児童クラブ室増設工事	54,779	学校敷地内専用クラブ室
都和小学校第1・第2児童クラブ室移設、第3児童クラブ室新設工事	1,057	学校敷地内専用クラブ室
合 計	76,938	

＜その他の経費＞

非常勤職員報酬136,297千円、委託料5,544千円、工事請負費9,311千円等 計164,924千円

※参考 児童クラブ入所状況

(単位：人，％)

年度	小学校1～3年生	うち児童クラブ入所児童数	入所割合
平成23年度	3,860	1,121	29.0
平成24年度	3,780	1,149	30.4
平成25年度	3,764	1,211	32.0



土浦小第1、第2、第3児童クラブ



神立小第3児童クラブ

◎放課後子ども教室推進事業

(単位：人)

実施校	開設年度	登録児童数	委託先
宍塚小学校	平成20年度	19	特定非営利活動法人 スポーツ健康支援センター
山ノ荘小学校	平成22年度	74	特定非営利活動法人 茨城教育ネットワーク
東小学校	平成23年度	77	特定非営利活動法人 スポーツ健康支援センター
藤沢小学校	平成23年度	91	特定非営利活動法人 茨城教育ネットワーク
上大津東小学校	平成24年度	30	特定非営利活動法人 スポーツ健康支援センター
右俣小学校	平成24年度	57	特定非営利活動法人 World Wide Dreams
都和南小学校	平成25年度	37	特定非営利活動法人 茨城教育ネットワーク
合 計		385	

＜運営経費＞

運営委託料8,895千円、放課後子ども教室推進事業運営委員会委員謝金ほか83千円

【事業の成果】

大規模児童クラブの分割、増設及び移設により、児童の衛生面や安全面等の環境整備が図られ、また女性の就労や少子化が進む中、子育てと仕事の両立を支援することができました。

放課後子ども教室については、実施学校の体育館など子どもたちの安心安全な居場所を設け、放課後にスポーツ、文化活動、地域住民との交流などを実施することにより、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進することができました。

款	教育費	項	保健体育費			
事業名	(仮称) 荒川沖地区市民運動広場整備事業					
施策の大綱名	心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり					
決算額	5,444千円	財源内訳	国県支出金等	2,700千円	一般財源	2,744千円

【事業の概要】

市の南部地区に多目的に利用できる運動広場を整備し、スポーツ・レクリエーション施設の充実を図るため、基本設計及び実施設計を行いました。

【施設の概要】

- 土地の所在：土浦市中村西根字砂久保1984番18 外7筆
- 面積：23,119㎡（うち5,255㎡については、借地）
- 多目的運動広場：サッカー場（天然芝） 1面（少年用2面）
野球場（外野天然芝） 1面（少年用2面）
- トイレ：2棟
- 駐車場：91台（うち、身障者用2台、マイクロバス用2台）
- 駐輪場：106台

【事業費】

（単位：千円）

区 分	事業費
基本設計・実施設計委託料	3,622
草刈委託	960
使用料及び賃借料	862
合 計	5,444

【今後のスケジュール】

- ・平成26年度：整備工事
- ・平成27年度：供用開始（平成27年4月から8月までは芝生養生期間、9月供用開始予定）
荒川沖地区野球広場解体撤去及び土地の返還



（仮称）荒川沖地区市民運動広場 位置図

【事業の成果】

平成27年度の供用開始に向けて、運動広場の整備を進めるための基本設計及び実施設計を行うことにより、多目的運動広場の概要を定めることができました。

今後は、サッカーや野球等、多目的に利用できる運動広場を整備することにより、市民の体力や競技力の向上及び健康の維持・増進に寄与します。

款	教育費	項	保健体育費
事業名	水郷プール再整備事業		
施策の大綱名	心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり		
決算額	210,569千円	財源内訳	国県支出金等 194,512千円 一般財源 16,057千円

【事業の概要】

新たなプールの基本設計及び実施設計を行うとともに、霞ヶ浦総合公園内の排水設備、電気設備の切廻し工事及び既存プールの解体工事を行いました。

【施設の概要】

流水プール（延長270.5m）、多目的プール（25m×8コース）、ちびっ子プール、直線スライダー（3レーン）、チューブスライダー（2レーン）、管理棟（1棟）

【事業の内容】

- 水郷プール基本設計・実施設計委託
基本設計図書、実施設計図書の作成を行いました。
- 霞ヶ浦総合公園内電気設備切廻し工事
体育館及びレストハウスの高圧引込設備工事、汚水槽動力設備工事を行いました。
- 霞ヶ浦総合公園内排水設備切廻し工事
汚水排水槽設置工事、ポンプ設置工事、排水管撤去及び布設工事を行いました。
- 水郷プール解体撤去工事
敷地面積17,900㎡内すべての構造物、工作物、植栽等の解体撤去処分を行いました。

【事業費】

（単位：千円）

区 分	事業費
基本設計・実施設計委託料	19,950
電気及び排水の切廻し工事	37,811
既存プール解体撤去工事	150,150
電気設備工事費負担金	2,357
P C B 検査及び建築確認手数料	301
合 計	210,569

【今後のスケジュール】

- ・平成26年度～27年度：建築工事，電気設備工事，機械設備工事
- ・平成28年度：7月供用開始（予定）



水郷プール イメージ図

【事業の成果】

既存プールの解体撤去，基本設計及び実施設計を行ったことにより，平成28年7月の供用開始に向けて，市民プールの再整備ができるようになりました。

今後は，市民の健康の維持・増進及びスポーツ・レクリエーション施設の充実を図ることを目的に，市民プール再整備事業を進めていきます。

款	教育費	項	保健体育費		
事業名	土浦市立学校給食センター再整備事業				
施策の大綱名	心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり				
決算額	6,020千円	財源内訳	国県支出金等	一般財源	6,020千円
【事業の概要】					
土浦市立第一学校給食センター(昭和45年竣工)及び第二学校給食センター(昭和50年竣工)については、施設設備の老朽化及び耐震基準や学校給食衛生管理基準への対応などの課題があるため、新たな学校給食センターの整備に向けて、平成24年度～平成25年度の2か年で基本構想を策定しました。					
基本構想の策定については、学識経験者等による「土浦市立学校給食センター再整備基本構想策定委員会」を設置し、本市の目指す新学校給食センターの施設整備方針等について検討を行いました。					
さらに、平成25年度には、民間の資金やノウハウを活用したPFI方式等の事業手法検討調査を実施しました。					
(1) 土浦市立学校給食センター再整備基本構想策定委員会 平成25年度開催状況					
日程	議題	内 容 等			
第4回	事業手法の検討について	・ 従来型事業手法及びPFI方式等代表的な事業手法について、整理及び比較検討をしました。			
第5回	基本構想(素案)の策定について	・ 基本構想(素案)について、特に基本方針、2時間喫食と配送時間、施設設備計画などについて検討しました。			
第6回	基本構想(案)の策定について	・ 基本方針Ⅰ～Ⅴに関し、その文言、表現等について検討しました。 ・ 設計と条件、関係法令の整理に関し、その文言について検討しました。			
第7回	基本構想の策定	・ 全体のまとめ ・ 基本構想を策定しました。			
(2) 学校給食センター事業手法検討調査委託					
・ 委託期間…平成25年11月12日～平成26年3月27日					
・ 業務内容… ①基本事項の整理 ②学校給食センター整備手法の整理					
【事業の成果】					
学識経験者等で構成する「土浦市立学校給食センター再整備基本構想策定委員会」での協議検討を重ねた上で、本市の目指す学校給食センターの方向性を示す「基本構想」を策定しました。					
今後は、PFI方式等の事業手法の導入について更に検討し、新学校給食センターの建設を推進することにより、将来にわたる安心安全でおいしい学校給食の提供に寄与します。					

款	災害復旧費	項	土木関係災害復旧費
事業名	住宅復旧補助事業		
施策の大綱名	市民の生活と財産を守り、安心・安全な、明るいまちづくり		
決算額	67,787千円	財源内訳	国県支出金等 一般財源 67,787千円
【事業の概要】			
東日本大震災により、多くの住宅が被害を受けたことから、緊急特別措置として、被災住宅の修繕工事に要した費用の一部を助成する事業を実施しました。			
[対象となる住宅] 震災により被災した自己用住宅（借家を含む。）			
[対象となる修繕] 住宅の屋根、外壁、床、階段、基礎等及び塀の修繕 ※ただし、被災者生活再建支援制度の支援を受ける場合は、助成の対象外となります。			
[助成額]			
修 繕 費 用		助 成 額	
1万円以上10万円未満の場合		1万円	
10万円以上の場合		修繕費用の30%を助成 ※限度額10万円	
[実績]			
			(単位:件, 千円)
年 度	助 成 件 数	助 成 額	
平成23年度	3,281	277,391	
平成24年度	1,532	130,416	
平成25年度	792	67,787	
合 計	5,605	475,594	
[主な修繕内容] 住宅の屋根瓦、内壁、外壁、基礎、玄関や浴室のタイル、塀等の破損による修繕			
【事業の成果】 東日本大震災により被害を受けた住宅の修繕費の一部を助成することにより、被災者の方々の負担を軽減し、震災からの復興に寄与しました。			

款	災害復旧費	項	文教関係災害復旧費
事業名	指定文化財等復旧事業		
施策の大綱名	心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり		
決算額	4,500千円	財源内訳	国県支出金等 3,613千円 一般財源 887千円

【事業の概要】

貴重な文化財を次の世代に残していくために、東日本大震災により被災した国・県・市指定文化財の所有者に対して、指定文化財を復旧・修復するための費用の一部を助成しました。

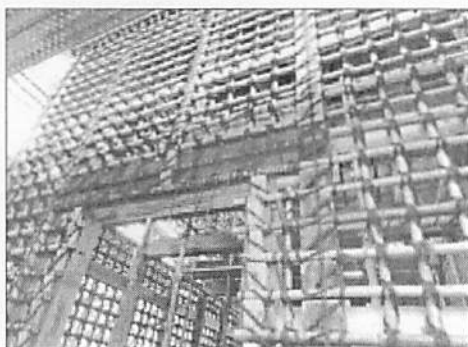
〔平成25年度実績〕

事業名	事業費	概 要
県指定建造物「矢口家住宅」修理費補助金	4,500	元蔵・店蔵・袖蔵解体修理

県指定建造物「矢口家住宅」については、平成24年度から平成27年度の4か年にわたり、「店蔵」「袖蔵」「元蔵」等の修復工事を行っています。

〔「矢口家住宅」工事スケジュール〕

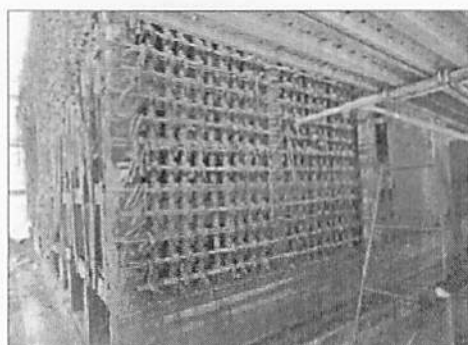
- ・平成24年度 「元蔵」解体修理
- ・平成25年度 「元蔵」「店蔵」「袖蔵」解体修理
- ・平成26年度 「元蔵」「店蔵」「袖蔵」「米蔵」解体修理
- ・平成27年度 「店蔵」「袖蔵」「米蔵」他解体修理



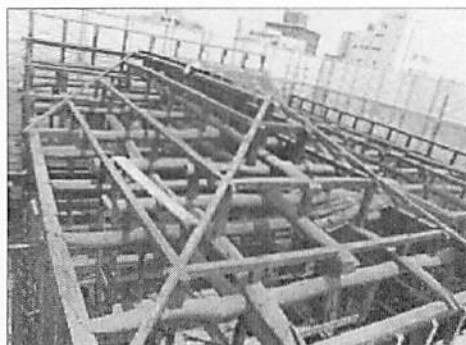
こまいか
「元蔵」左官工事（木舞搔き）



「元蔵」左官工事



「店蔵」「袖蔵」解体工事



「店蔵」「袖蔵」解体工事

【事業の成果】

東日本大震災により被災した文化財の修復に当たっては、工事等で多額の費用を要するため、貴重な文化財を次の世代に残していくための助成事業が欠かせないものとなっています。

「矢口家住宅」については、修復期間が平成24年度から平成27年度までの4か年にわたることから、引き続き修復費用の助成をしていきます。